

令和 4 年 4 月 15 日
中部地方整備局
総務部 人事課

中部地方整備局 若手職員！！ 令和 4 年度文科大臣表彰創意工夫功労者賞を DX 関連で初受賞！

1. 概要

文部科学省では、優れた創意工夫により職域における技術の改善向上に貢献した者を創意工夫功労者として表彰しています。

令和 4 年度は、当整備局職員から「1 名」が受賞しました。

つきましては、伝達式を令和 4 年 4 月 19 日（火）14：00 から行います。

2. 受賞者

豊橋河川事務所 豊川流域治水出張所 管理第二係長 坂野 正弥（ばんの まさや）
業績名「デジタル技術及びドローン技術活用による業務改善」

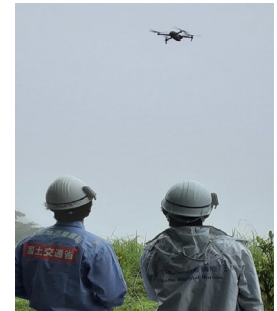
3. 創意工夫の内容（別添資料参照）

昨今デジタル技術を活用した働き方改革は急激に進んでおり、行政職務に関しても手続きのデジタル化、テレワークの推進、WEB 会議の活用等に取り組んでいるところです。

このような時代の変化を踏まえ、業務におけるデジタル技術の活用として、「PR 手法改善」「被災地調査における情報交換手段の改善」を行いました。

PR 手法改善では、動画作成技術に着目し、従来口頭或いは書面にて説明していた内容を動画化し職員負担軽減、説明効率向上につなげた他、ポスター、動画配信サイトへの流用による広報活動へも活用しました。

被災地調査における情報交換手段の改善では、ドローン活用が重視されてきている中、静岡県熱海市での土石流災害発生時に TEG-FORCE 隊のドローンマイスターとして災害現場に赴き、被災状況の把握を効率的かつ効果的に実施しました。



4. 配布先 中部地方整備局記者クラブ

5. その他 取材を希望される方は、事前申し込みをお願いいたします。（別紙参照）

6. 問い合わせ先 国土交通省 中部地方整備局

総務部 人事計画官 亀谷 尚岐

総務部 人事課 管理係長 細萱 裕晃

TEL：052（953）8117

FAX：052（953）8281

「令和4年度文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞」 取材登録票

- ・取材をご希望される報道機関におかれましては、事前に下記の内容をメールにて送付くださいますようお願いいたします。
- ・取材希望の状況によっては、人数、時間帯を調整させていただく可能性があります。
- ・取材される方におかれましても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、入館時の検温及びアルコール消毒にご協力をお願いいたします。
- ・表彰伝達式は、下記にて行います。

名古屋市中区三の丸2-5-1 合同庁舎第2号館
国土交通省中部地方整備局（本局）6F 局長室

メール送信期限：4月18日（月）16：00まで

【ご登録いただく内容】

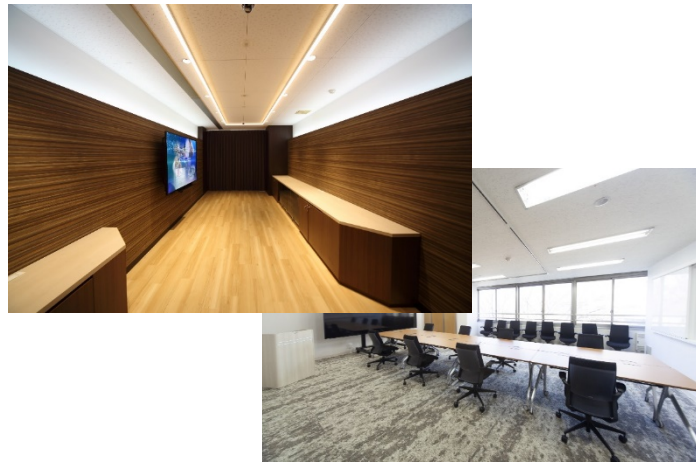
1. 報道機関名
2. ご氏名
3. 連絡先（電話番号）

【送信先アドレス】

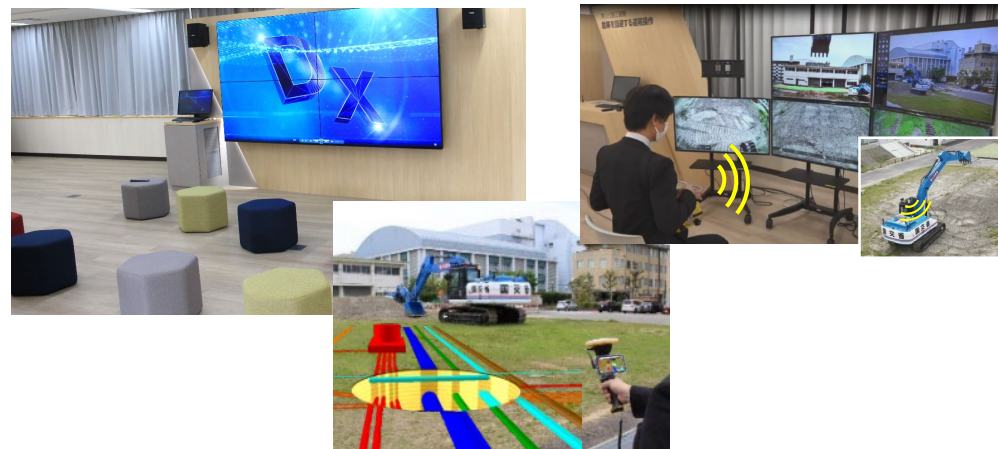
hosogaya-h85aa@mlit.go.jp

総務部人事課管理係 細萱 宛

中部インフラ DXソーシャルラボ



中部インフラ DXセンター



令和3年にDX関連施設を整備し、民間技術者等に対し見学会を実施

【着目した課題】

- ① 説明者により説明内容に差が出る上に、直営での説明は職員負担が大きい。
- ② 見学者にしか施設の説明ができないため、広く世間に宣伝できない。

【解決策】

- ① 施設説明動画を作成し、動画の内容に沿った説明で負担軽減、内容差を解消。
- ② 身につけた動画作成技術を流用し、YouTubeによる講演の配信、日常業務の操作説明等に活用。

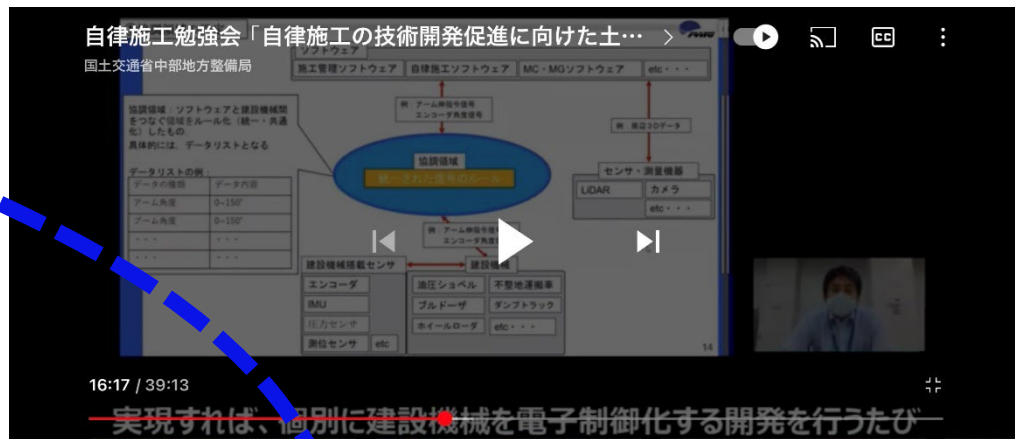
デジタル技術及びドローン技術活用による業務改善

～PR手法～

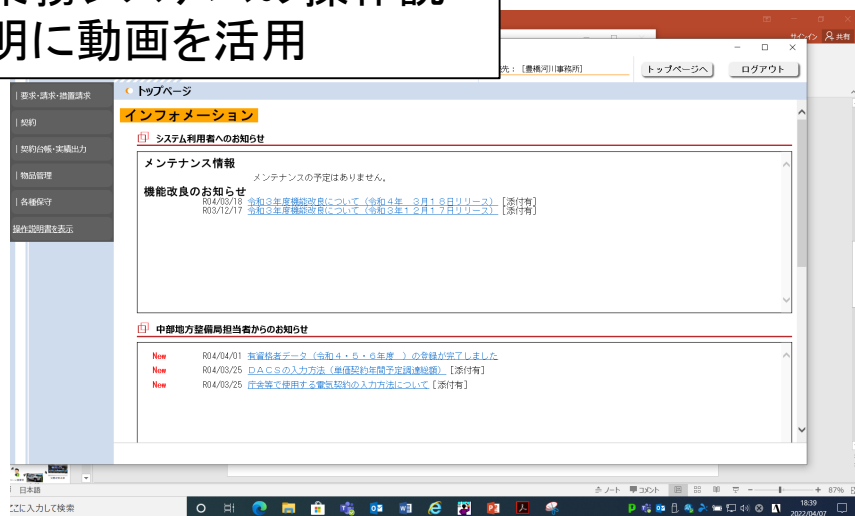
DXセンターの説明で動画活用



YouTubeで講義動画を配信



業務システムの操作説明に動画を活用



ポスターに動画を流用



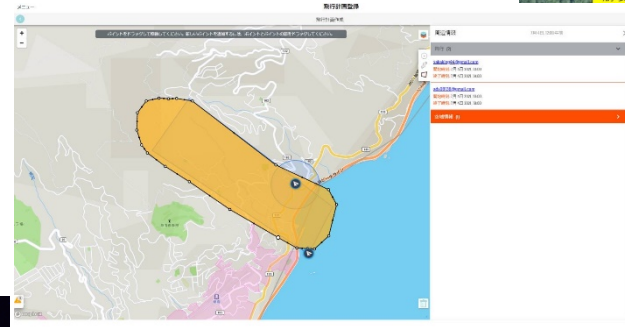
熱海豪雨災害
発生

ドローン調査隊派遣決定

被災地への移動

~~フライトプラン等の検討・準備~~

被災地調査



協力地整(九州・関東)ドローン
チームによる検討



※日頃より地整の枠を超えた情報交換を実施し、顔の見える関係を構築していたおかげで迅速な対応が可能となった。

従来のリアルタイム映像配信



Teamsを用いたリアルタイム映像配信

